

交通シミュレーション自主研究委員会

第2部会(第4回)議事録(案)

1. 日時:平成14年11月01日(金) 17:00-19:00

2. 場所:日本道路協会 会議室(尚友会館7階)

3. 出席者:12名

宇野部会長	(京都大学 大学院)
赤田	(株)都市交通計画研究所)
飯田	(中央復建コンサルタンツ(株))
江藤	(株)オリエンタルコンサルタンツ東京事業本部)
小川	(立命館大学)
岩岡(織田代理)	(松下通信工業(株)社会システム事業部)
小根山	(東京大学 生産技術研究所)
野寺	(中央復建コンサルタンツ(株))
花房	(株)熊谷組)
前畑	(株)千代田コンサルタント)
松永	(株)地域・交通計画研究所)
堀口	(株)アイ・トランスポート・ラボ)

(敬称略・名簿順)

4. 配付資料

(1)部会資料

- ・議事次第
- ・第2部会_第3回議事録案
- ・委員会_14年度第2回運営幹事会議事録
- ・第2部会名簿・自主研究会活動報告資料
- ・第2部会のタスクについて
- ・Smartest Project について

(2)国際交通安全学会シンポジウムの案内資料

5. 議事次第

- (1)前部会議事録確認・運営幹事会議事録報告
- (2)第2部会内WGについて
- (3)話題提供_Smartest Project(University of Leeds)について
- (4)各WGでの議論
- (5)次回部会の日程等

6. 内 容 :

(1) 前回部会議事録確認・運営幹事会議事録報告

1) 前回(3回)議事録の確認

前回議事録より、主要な確認・確定(タスク、2つのWGの設置、既存手法との対比等)に関して、海外事例の収集に関して、入力データの精度に関する議論の必要性等)事項が報告された。

2) 運営幹事会議事録報告

交通工学研究発表会(11/07)で、自主研究会の活動報告を実施すること、及びその内容、資料の概要が報告された。

従前収集されている先行事例(ITS 研究小委員会提供分)の取り扱いとして、委員長の方で筋を通すということで、データ使用が可能となったとの報告があった。その他、12/06-07 に神戸市六甲山にて、シミュレーションワークショップの開催の案内があった。

(2) 第2部会内WGについて

本部会内WGについて、資料7pに示すとおり各委員の希望に添って、適用事例収集構築WG、適用マニュアル作成WGに振り分けている。ここで、適用事例収集WGのリーダーには、飯田委員(中央復建コンサルツ株)、適用マニュアル作成WGのリーダーには、小根山委員(東京大学_生産技術研究所)にお願いし、了解していただいたとの報告がなされた。

部会長は、適用マニュアル作成WGをメインに参加し、適用事例収集WGはオブザーバー的に参加する。

その他、委員の交代として、千代田コンサルツ_安藤委員転勤のため、今回より前畑委員に変更されているとの報告があった。

事例収集に関しては、これまで収集されていないものを重点に収集してもらいたい。他の部会(第3,4部会)で収集されているものは、部会長の方で、収集する。

適用マニュアル作成としては、“何を書くべきか”、“どんな方針で書くべきか”ということを議論してもらいたい。一般論を書くべきだが、一般論では、わからないことが多々でてくると思われる。

適用マニュアルについて、どの部会がどの部分を担当しているのか?

後日、メールにて案内する。

パラメータ・再現性等に関して、第1部会と重複するところがあるので、(執筆)内容、データ等についての情報交換が必要である。

マニュアルを執筆するというWGは、他の部会には無いため、逆に本部会から“こういったものを”という働きかけを行う方がよいと思われる。

他の部会では、部会長が代表的に執筆すると思われるが、大学関係者が執筆すると、使い勝手が悪いものになりかねないため、各関係者から提案、議論してもらいながら進めるべきものと考えている。

(3) 話題提供_Smartest Project(University of Leeds)について

1997-1999 に EC で実施された Smartest Project についての紹介がなされた。

(目的、アウトプットが本委員会と大変よく似ているプロジェクトとして内容紹介)

資料22p 表中の P : パブリックに関しては、ダウンロードが可能のため、適用事例に入れることも考えてみてはどうか。

このプロジェクトの Best Practice Manual(資料 23p 以降)を先行事例として紹介。
このプロジェクトは、最終的に4つのツールを推奨するような方向に変化してしまったことが問題であり、日本ではもう少し一般性のある形で進め、ツールにこだわらないようにすればもっと良いものになると思われる。

(4)各WGでの議論

1)適用事例収集WG

事例収集 sheet に関しては、過去の sheet にこだわらず、一般ユーザー側の利便性から a)目的,b)モデル化のニーズ、c)ツールの機能という観点でキーワードを固めて、sheet の再構築を検討していく。

スケジュール的には、今後1ヶ月で、WG内(メール等でやりとりを実施)にてキーワードを固め、年内に sheet の大枠を固め、年度内に収集 sheet 作成、次年度調査できるように進めたい。

2)適用マニュアル作成WG

委員長案を考慮せず、構成の見直し・検討を実施する。

目次案を作成し、今年度中に幹事会の方へあげて議論してもらいたい。
また、目次案に対し担当を決めて細かく内容を検討することとする。

執筆については、具体的な内容が決まった段階でお願いするものとする。

(5)次回部会の日程等

次回部会は、12月09日(月)17:00~とし、場所等詳細については、改めてメールにて案内する。

部会開始1時間ほどは、各WGでの議論の場とし、残り時間を全体での議論の場とする。

注) は、部会長、 は、WGリーダー、 はその他委員

記録：赤田(株)都市交通計画研究所)